

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発 行 所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学
公衆衛生学教室 TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499 発行責任者：地方会長 野見山 哲生



輪島の仮設避難所建設（橋本英樹先生 ご提供）



身延山久遠寺 三門（高橋英尚先生 ご提供）

巻 頭 言



能登半島地震への関わり

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会理事

石川県医師会 副会長

橋本 英樹

1 月 1 日に発生した能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。7 カ月が経ちましたが、まだまだ復旧半ばの状態で、とても復興とは言えない状況です。日本医師会の JMAT 派遣事業は 5 月で終了いたしました。が、まだまだ支援を必要とされている方がいます。今後とも支援活動を続けていきます。

3 月終わりの JMAT として輪島の門前地区に行ってきました。与えられたミッションは避難所に行って予め保健師が把握している体調が悪そうな人を診察して、医療が必要なら開業医の先生を受診するように指示し、必要が無ければ状態をメモして先生と保健師に伝えるというものでした。この時同行してもらった支援ナースの被災者に対する接し方が素晴らしく、兎に角時間をかけて話を聞いて本当にこの人が必要とされる支援は何なのか探っていくというもので、我々が普段行っている診療とは全く違うものでした。これが安定期の避難所の訪問の仕方だと深く感心しました。4 月には金沢市にあるスポーツアリーナの 1.5 次避難所での診療も行っていました。

現時点で災害関連死 299 人が認定されています。今後はうつ病による自死なども増えてくると思われます。金沢などのみなし仮設住宅に住んでいる被災者が時々能登北部の被災地に戻ると、まだ復旧が進んでいない光景に

ひどく絶望を感じるそうです。さらに経済的な苦境にもさらされており、行政だけでなく医療などのサポートが必要な方がたくさんおられます。でも本当に必要なのはそのような困難や不安感をいつでも話し合える仲間・場所だと思います。被災地の仮設に入った高齢者には、周囲に知った人がいない、話し合う人がいないという人もいます。ましてや遠くのみなしにいる人はなおさらです。

また、その行政でも仕事の量がいつまでたっても減らず、精神的にも肉体的にもぎりぎりで働いている人がたくさんいます。今年は医師、建設業、運送業の働き方改革元年です。ある建設会社の嘱託産業医をしています、能登の復旧建設現場では期限内の復旧が求められ、働き方改革どころではないのが現状です。

最期に、令和 6 年度からいろいろ新しいことが増え、ますます産業医がやらねばならない仕事が増えます。石川県医師会としましても日本産業衛生学会北陸甲信越地方会と連携を深めていきたいと思っています。

特集コラム：名誉会員就任について



本会名誉会員表彰のご挨拶

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会理事
山梨産業保健総合支援センター

高橋 英尚

第 97 回日本産業衛生学会(開催：広島国際会議場)において名誉会員(2023 年度)の栄誉を賜りました。ひとえに北陸甲信越地方会会員各位と野見山地方会長の本会推薦をいただいたご配慮によるものであると感謝申し上げます。

私事にて恐縮ですが 1977 年(昭和 52 年)当時新設された北里大学医学部 2 期生として卒業、大学院医学研究科(衛生・公衆衛生学)に進学して高田教授の大学院生として 1982 年(昭和 57 年)修了後旧珪肺労災病院内科に職業病の臨床研修として出向した後、母校の専任講師として奉職。5 年後山梨で開業医をしてる父が脳梗塞で倒れ諸事情により郷里に帰り臨床医と産業医活動に励む日々でした。学会は関東地方会から北陸甲信越地方会に転籍して関東地方会在籍当時より知己を得てました旧山梨医科大学第一保健学佐藤教授のご指導のもと 34 年間本地方会にお世話になって現在に至りました。母校と山梨医科大学の非常勤講師を拝命、旧山梨産業保健推進センター相談員を仰せつかり大学研究部門と医師会をはじめ歯科医師会・薬剤師会・看護協会等医療系専門職との連携、都道府県労働局及び労働基準監督署及び関係諸団体・企業の事業主と働く皆さまの労働安全衛生に対しニッチ(隙間)を埋めるべく各界のリレーション・シップの構築・情報の共有化、あるいは医師会活動の中において地域における産業医のあり方等に対し恩師である高田先生・佐藤先生の薫陶を受けてまいりました。

医学部の卒後教育の選択の自由度が高い時代、社会医学系大学院医学研究科に入学したのがきっかけで浅学非才のわたくしが本会名誉会員の表彰をいただけたのは、尊敬できる医学者であるとともに素晴らしい人格者であった先生方に巡り会え、公私ともども人生の師として温かく見守っていただきご指導を賜ったものと思っています。重ねて本地方会長並びに会員各位の皆さまに厚くお礼と感謝申し上げ、日本産業衛生学会(3 年後には 100 周年)及び地方会の益々のご発展を祈念申し上げわたくしのお礼の挨拶とさせていただきます。

第 67 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会について

第 67 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会は、下記の通り開催予定です。情報の更新は地方会 H P で随時行いますので、ご参照ください。皆様のご参加をお待ちしております。

●第 67 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 学会

開催日時：2024 年 10 月 20 日（日）10 時～15 時 30 分

開催場所：石川県立音楽堂 交流ホール（石川県金沢市昭和町 20-1）

学会長：石川県医師会長 安田健二 先生

共催：石川県医師会、石川県産業保健総合支援センター、
日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会・産業保健看護部会、産業歯科保健部会

◎プログラム

10:00-12:00 一般演題（9 題）

12:00-12:30 地方会総会 大会長挨拶

12:30- 産業医部会（控室 1）、業看護部会（ホテル金沢 会議室）
役員昼食会場（控室 2）

13:30-14:30 特別講演 1（共催：北陸甲信越地方会産業医部会）
「健康・医療経済学の基礎知識－近年の政策動向を交えて」
演者：高山一夫（京都橘大学 経済学部長）

14:30-15:30 特別講演 2（共催：北陸甲信越地方会産業歯科保健部会）
「職域でのオーラルフレイルと産業歯科保健活動」
演者：曾山善之（曾山歯科クリニック、YKK デンタルクリニック）

◎前日企画 職場環境改善セミナー（共催：北陸甲信越地方会産業医部会・産業保健看護部会）
「職域における女性の健康問題を考える」 事例紹介とグループワーク

開催日時：2024 年 10 月 19 日（土）14 時 30 分～16 時 30 分

開催場所：IT ビジネスプラザ武蔵 5 階 研修室 1（石川県金沢市武蔵町 14 番 31 号）

●2024 年度日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 総会

開催日時：2024 年 10 月 20 日（日）第 67 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会学会会期中

開催場所：石川県立音楽堂 交流ホール（石川県金沢市昭和町 20-1）

内容：2023 年度事業報告・収支報告（案）の審議
2024 年度事業計画・予算（案）の審議 等

地方会事業から

長野県産業看護研究会の活動

私は 2022 年度より当研究会の会長を務めさせていただいております。当研究会は事業所、官庁、及び大学等にて産業保健を担っている会員 63 名より構成さ

れております。近年、働き方の多様化や健康経営の導入により産業保健のニーズも高まっており会員数も年々増えています。

当研究会では長野県産業保健総合支援センターとの共催で年 1 回の研修会を開催しています。2024 年度は 6 月に集合と Web のハイブリッド形式にて研修会

を実施しました。講師に国立大学法人大分大学にて医学部及び附属病院職員の産業保健を担当されております江口美和先生に「職場巡視の進め方と活用について」ご講演いただき約 150 名の参加となりました。統括管理にあたる職場巡視のポイントや PDCA を回す進め方について先生がご苦労されたご経験も交えながらとても分かりやすく、ユーモアたっぷりの資料とともにお話いただきました。特に「自分がここで働いているとしたら・・・」と当事者意識で職場巡視をすることの大切さを語られており、感銘を受けると共に大変有意義な研修会となりました。

(文責：株式会社みすずコーポレーション
保健師 錦織 直子)

会員の取り組み



健康教育の継続～新たな取り組み～

北陸電力 (株)

保健師 白崎 慶子

健康推進室は、産業医 1 名、保健師 2 名で、県内 14 事業所の約 920 人の健康管理を担当しています。近年、健康課題や健康支援の方法が多様化していますが、私たちは「従業員一人一人を大切にする」というポピュレーションアプローチのスタイルを長年にわたり続けています。

その一環として、2014 年からは全従業員を対象とした健康教育を実施しています。生活習慣の講話や運動実技など、約 1 時間のプログラムです。昨年は各事業所を訪問し、計 84 回開催しました。私は健康運動指導士の資格を活かして、運動指導を担当しています。従業員の年齢、性別、健康状態、運動意識、運動習慣などに合わせて、「安全で楽しく効果的な運動メニュー」を考えながら運動実技を行っています。

そのような取り組みを毎年継続してきたところ（コロナ禍では少人数、時間短縮して実施）、ある事業所から、「就業時間後に所内で健康運動教室を開催したいので、講師として協力してほしい」との依頼がありました。昨年の 6 月から始まったこの健康運動教室は、筋トレ、

体幹、ストレッチなど要望を取り入れながら、毎回約 10 人の参加者が集まり、和やかな雰囲気の中 50 分間の運動で汗を流しました。最初の予定は 3 ヶ月間でしたが、予想以上の人気で 1 年間も続くことになりました。また、運動備品購入に充てるため参加者から集めたお金については購入をやめて、今年発生した能登半島地震の災害義援金として寄与しました。

このような産業保健活動を継続することにより、職場から生まれたこの企画は、従業員の健康増進につながると同時に、地域の復興支援にも貢献できる非常に有意義なものでした。

私たちは今後も積極的に職場に出向き、従業員一人一人を大切に思い、的確で丁寧な健康支援をしていきたいと考えています。

新入会員紹介



現場に生きる研究を目指して

富山大学疫学・健康政策学講座

助教 立瀬 剛志 (医学博士)

私は富山大学に赴任してから本年度で 18 年となります。研究は疫学分野で、「仕事満足」「自殺対策」「女性の Well-being」などテーマに活動をしています。これまで、仕事満足に関する国際比較研究などを行い、日本の仕事満足の低さは、仕事そのものへの興味や能力適正の不利に起因しており、これらを改善するならば先進国平均以上の仕事満足度に改善できることなど明らかにしました。また仕事への不満は抑うつ発症に先行して見られる現象で 1 年後の抑うつ発症の目安になるが、一方で既に抑うつを発症した人については、仕事満足への対応ではなく、ストレス（いわゆる裁量度や要求度など具体的な業務内容）の改善が必要になることなど大規模な疫学調査データから明らかにしてきました。

最近では、地域と職域の連携の重要性に改めて気づき、富山市との共同で現役世代からの健康支援として、生きがいのある生活に向けたパラレルキャリア支援なども行っています。また、パワハラ予防のための社員研修やメンタルヘルス経営に向けた取り組みの支援なども

行っていますが、今後は地域、職域を越えて一人一人のライフコースを支援する仕組みをどのようにつくれるかという課題に取り組みたいと思っています。

私たちの職場 『富士電機（株） 山梨工場』 保健師 藤巻 佐和子

富士電機は、意外に身近な電機メーカーです。小さな半導体や大きな発電所まで、幅広い事業を展開し、人々の暮らしと産業をつなぐ、BtoB メーカーで、当社の製品は発電所や鉄道、自動車、自動販売機、工場のファクトリーオートメーションなど様々な分野で活躍しています。

私たちの勤務する山梨工場は半導体製品を製造しており、従業員約 500 名が勤務しています。この 500 名の従業員の皆さんを産業医 1 名・保健師 1 名体制で健康管理・安全管理を行っています。

健康管理室で安全管理も行うことは珍しいことだと思います。通常健康管理室運営に加えての業務の為、負荷は大きいのですがそれ以上にメリットも多く、私自身はこの体制に可能性を感じる事が多いです。

業務上災害撲滅に向けた教育は勿論のこと、全員参加の安全活動を推進する為の体制強化に向け、リスクアセスメント、ヒヤリハットを活用した適切な対応措置を実施しています。また、常に「危険に対する感受性」を身につける為、繰り返しの教育を実施し、不安全行動・不安全状態を排除し、災害の未然防止を図っております。

今年度は転倒防止対策に力を入れ、会社を巻き込んだ対応を企画しております。

このように、会社を巻き込んだ活動を企画運営できることは大きなメリットです。

衛生に関してはメンタル不調者への対応として、産業医、保健師、職場間で連携を図り、未然に”気づき”対応できる体制となっています。

生活習慣病予防・運動習慣の意識づけイベントとして「山梨工場歩活大作戦」を年 2 回開催しています。これは 1 か月間の平均歩数 8000 歩を目指して従業員の皆さんに参加していただいています。回数を重ねるごとに参加者・チーム数も増え、平均歩数も UP しています。なにより嬉しいことは、今まで意識していなかった歩数を意識し始めた人が多くなったことです。健康管理室では「無意識に行っていた悪しき生活習慣を意識して改善し、その改善した生活習慣を無意識に出来るようになる」を目標に従業員の皆さんにアプローチを行っていますので皆さんの日々の変化が見えることにやりがいを感じています。

企画も、データをもとに問題点を洗い出し、対策、評価する。その評価をもとに次回へ生かす活動を繰り返し行うことで年々、改善が見られております。

従業員の皆さんからも、「健康管理室は明るく笑いの絶えない場所だね」と言われています。

どんなに苦しくて、大変なことがあっても笑顔で、従業員の皆さん一人一人に真摯に向き合っていきたいと思っています。



役員選挙に関するお知らせ

本年度は日本産業衛生学会の定款 8, 25, 26 条ならびに役員の選任に関する規程、代議員の選任に関する規程、地方会に関する規定 4 条に基づき、地方会長、本部代議員候補の選出を行う予定です。今後、役員選挙に関する情報は地方会ホームページで随時更新します。

役員選挙は電子投票で行われます。電子投票のためのパスワード通知は日本産業衛生学会へご登録のメールアドレスへ届きます。当地方会員の皆さんにおかれましては、ご登録メールアドレスの着信の可否のご確認をお願い致します。

また、選挙権を有するのは、前年度より引き続き正会員であり、かつ 7 月 31 日までに日本産業衛生学会の会費を全納した方に限られます。郵便振替にて

早々にご納入くださいますようお願い申し上げます。(学会誌 3 月号に綴じ込みの払込用紙、または郵便局の青色の用紙をお使いください。)

なお年会費納入に関する問い合わせ等は本部事務局までお願いいたします。

日本産業衛生学会の選挙の概要

本学会では、2 年に 1 回、役員選挙を行っています。本年度、日本産業衛生学会の役員改選に伴い、理事、監事、地方会長、代議員が選出されます。

役員選挙の公示は、役員任期終了年度の 7 月 1 日までに、中央選挙管理委員会によって行われます。そして、選挙年 7 月末日までに会費を全納している会員のみが選挙人(選挙権及び被選挙権を有する)となり、選挙人名簿を確定します。

その上で、各地方会選挙管理委員会によって代議員選挙、地方会長選挙を実施し、10 月末までに結果を中央選挙管理委員会に報告します。代議員は 11 月 1 日から、2 年間の任期となります。

次に、各地方会選挙管理委員会によって、11 月 1 日から任期を務める代議員を選挙人とし、理事候補者選挙を実施し、その結果を選挙年度の 12 月 25 日までに報告します。

最後に、中央選挙管理委員会によって監事選挙の公示を行い、選挙を実施します。選挙人は代議員です。

地方会長、理事、監事は、選挙年度の翌年度に開催される総会で承認を受け、当日から 2 年後の総会までの任期となります。

実施時期：2024 年 7～9 月頃

実施方法：電子投票

▷理事候補者選挙

実施時期：2024 年 10～12 月頃

実施方法：電子投票

○2024 年度北陸甲信越地方会 理事会(予定)

日時：2024 年 10 月 19 日(土)

会場：ホテル金沢(金沢市)

○第 67 回北陸甲信越地方会 学会・総会(予定)

日時：2024 年 10 月 20 日(日)

会場：石川県立音楽堂 交流ホール(金沢市)

内容：一般演題発表、特別講演

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第 15 号を発行することができました。本号では令和 6 年能登半島地震被災への関わり、本会名誉会員就任に対するご報告、各県の皆様の活動状況などをお知らせすることができました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報して参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂けると幸いです。

編集委員(五十音順)

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、
小坂 智恵子、佐藤 一博、高山 英之、
角田 ひろみ、西澤 依小、松永 康弘、
丸山 猛士

事務局：當房 浩一、水木 将、長谷川 航平

事務局より

理事会報告

○2024 年度北陸甲信越地方会 常任理事会

日時：2024 年 6 月 15 日(土)

会場：ホテルメトロポリタン長野(長野市)

今後の行事案内

○日本産業衛生学会 役員選挙(予定)

▷地方会代議員および地方会長選挙

